

# 盛岡視覚支援学校

## 研究テーマ

「視覚障がい教育の専門性に基づく指導の充実」

(1年研究)

### 1 全校研究

#### (1) 研究目的

職員一人一人が、研修が必要だと考える視覚障がい教育の専門性について共同で学びあい、授業実践を通して日々の授業に生かすことにより、各々の専門性を高め、授業力の向上を図る。また、研究会を通して視覚障がい教育の専門性の共有化を図る。

#### (2) 研究内容・方法

視覚障がい教育の専門性向上のため、研修、研究が必要な分野ごとにグループを作る。グループ内共通の課題をサブテーマとして設定し、グループ毎に授業研究会、研修会を実施する。課題や課題解決に向け共通理解を図り、より効果的な手立てや改善案を話し合い、協議を行う。

#### (3) 研究実践

グループは7つ。各グループが行う研究会、研修会への参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、希望を取り人数を調整して行った。

##### ①点字指導

事例を挙げ実践発表を行った。点字指導の初期段階から中学部での教科指導まで、児童生徒の実態に合わせた教材や指導内容について、幅広く情報交換することができた。

##### ②歩行指導

学校から寄宿舎までの歩行指導研修会を行った。白杖や地図を用いながら実際に歩行し、ポイントとなる場所や指導方法を確認した。併せて、本校の指導マニュアルの作成も行った。

##### ③触察のしかたに関する指導

小学部重複障がい学級、生活単元学習の研究授業、授業研究会を行った。身近な食べ物を取り上げ、触察の基礎や生活との関わりについて考えた。

##### ④ICTを活用した指導

一人一人の教育的ニーズに合わせたICTの活用について研修会を行った。iPadを操作しながら、実用的・効果的な授業の展開と授業改善の推進に向けた活用方法を共有した。

##### ⑤教科指導・各教科等を合わせた指導

「教材の提示」と「体験・イメージ・言語」をキーワードに、より理解しやすい授業を目指して、それぞれ研究授業、授業研究会を行った。

##### ⑥理療科における指導

授業改善グループは、「見やすい、分かりやすい授業実践」をテーマに研究授業を複数回行った。課題研究グループは、課題を出し合い、生徒への支援内容をまとめた。

##### ⑦寄宿舎における指導

「個別のQOL計画を用いた指導の充実」をテーマに、実践事例を報告し合い、協議を行った。

### 2 講演会（高教研講演会）

中止

### 3 校内研修

#### (1) 手でみる博物館見学（8月3日）

#### (2) レポート発表会（8月3日・12月18日）

中止した全日盲研松山大会、東盲研福島大会で発表を予定していた発表者が、校内でレポート発表を行い、各テーマによる研修を深めた。

### 4 他の教育研究機関との連携

#### (1) 北東北3県盲ネットワーク関連

##### ①寄宿舎指導員研修会（8月4日、本校開催）

##### ②理療科実技研修会 中止

##### ③早期教育研修会（12月25日、青森）

オンラインでの参加、レポート発表

##### ④ロービジョン研修会（1月8日、秋田）

オンラインでの参加、レポート発表

⑤授業研究会については、指導案、授業研究会記録、研究授業のDVDをそれぞれ送付して交換し合い、共通理解を図った。

#### (2) 中止した全日盲研松山大会、東盲研福島大会

にはレポートを提出し、発表に代えている。

### 5 刊行物

研究集録は、刊行しない。

ホームページにて公開の予定。